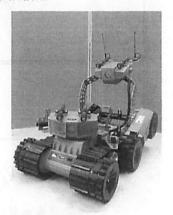
移動ロボットの形態(4) クローラ

- ブルドーザなどの土木機械に使われている、無限軌道
- 軟弱地盤にも強い、地面を荒らしやすい



千葉工大、東北大、 国際レスキューシステム研究機構、 Quince



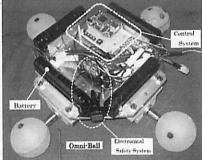
三菱電機特機システム CWD方式小型クローラロボット (Crawler Wheel Drive)

9

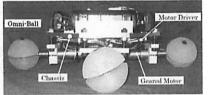
移動ロボットの形態(5) 全方向移動

■ 前後左右の平行移動と旋回が独立 に行える





(a) Parameeting View Omnidirectional Vechilds with "Omni-Ball



(A) Gida View of Omnidirectional Veshilele with "Omni-Balla"

球状全方向車輪 オムニボール 10

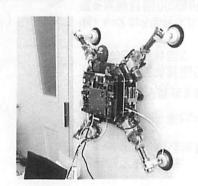


移動ロボットの形態(6) その他

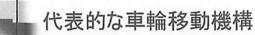
■ ほふく移動・・・胴体全体の屈曲や伸縮で 移動する ・壁面移動・・・ブロアでの吸引, 粘着力, 爪, 静電気などが用いられている



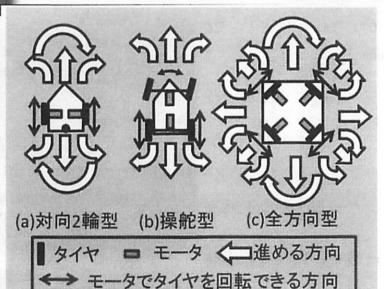
水陸両用ヘビ型ロポット「ACM-R5」 (東工大 2005)



壁面歩行ロボット (北海道職業能力開発大学校)



図出典:日本機械学会、ロボティクス





対向2輪型移動機構のモデル

円弧 回転中心 $\mathbf{p} = (x, y, \theta)^{\mathrm{T}}$

図出典:日本機械学会、ロボティクス

 $v_L = v_R$ なら直進, $v_L = -v_R$ なら超信地旋回

k=1/R を曲率という

(曲線の曲がり具合を表す)

k>0のとき反時計回り. k<0のとき時計回り

X 例) k=2 なら半径0.5mの円 弧を反時計回りに曲がる

 v_L , v_R : 左右の駆動輪の速度

: 円弧の半径(回転半径)

:ロボットの車輪間距離(トレッド)

p:左右駆動輪の中心(車軸の中心)

v, ω: pの位置の速度, 角速度

13



対向2輪型移動機構のモデル

ප්රිධ $2v_R=2v+W\omega$ දක්වෙත්ව, $v_R=v+rac{W}{2}\omega$

$$2v_L = 2v - W\omega$$

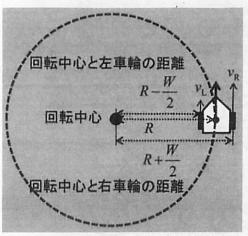
同様にして
$$2v_L=2v-W\omega$$
 より $v_L=v-\frac{W}{2}\omega$

これらを行列を用いて表現すると.

$$\begin{bmatrix} v \\ \omega \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} v_{R} + v_{L} \\ \frac{1}{2} \\ \frac{1}{2} \\ v_{L} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} v_{R} + v_{L} \\ \frac{1}{2} \\ v_{L} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_{L} \\ \frac{1}{2} \\ v_{L} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_{L} \\ \frac{1}{2} \\ v_{L} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_{L} \\ \frac{1}{2} \\ v_{L} \end{bmatrix}$$

※時計方向に曲がるときセルとセルは逆になる

対向2輪型移動機構のモデル



速度=回転半径×角速度 であるから $v = R\omega$

反時計方向に曲がるとき

$$v_R = \left(R + \frac{W}{2}\right)\omega$$
$$v_L = \left(R - \frac{W}{2}\right)\omega$$

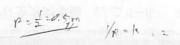
႕၅
$$v_R + v_L = 2R\omega = 2v$$

$$\therefore \ v = \frac{v_R + v_L}{2} \text{ [m/s]}$$

また
$$v_R - v_L = W \omega$$
 より

$$\therefore \ \omega = \frac{v_R - v_L}{W} \ \text{[rad/s]}$$





■ 対向2輪型の車両移動ロボットを v=0.1/m/sで曲率k=2のカーブを走らせたいとき, 左右の駆動輪の速度 v_R , v_I はいくらにすれば良いか。ただし、トレッドは0.2mとする。

$$k=2$$
より、カーブの半径 $R=1$ /2 = 0.5 m よって、角速度 $\omega=\frac{v}{v}=\frac{0.1}{v.5}=0.2$ val/s

ゆえに.

$$\begin{bmatrix} v_R \\ v_L \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \frac{e_2}{2} \\ \frac{e_2}{2} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \frac{e_1}{2} \\ \frac{e_1}{2} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \frac{e_1}{2} \\ \frac{e_2}{2} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \frac{e_1}{2} \\ \frac{e_1}{2} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \frac{e_1}{2} \\ \frac{e_1}{2} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \frac{e_1}{2} \\ \frac{e_1}{2} \end{bmatrix}$$